

はじめに

地域間研究と申して、東南アジアを理解する為に、他に比較の対象を求めながら研究を進めている。これまでに、インド、中東、アフリカ、中国を比較の対象に選んだ。これに引き続いてヨーロッパを取り上げ、これと比べた時、東南アジアはどういう特徴があるのかについて今回考えてみたい。地域研究というものは新しくご参加いただいた方には少しわかりにくいかもしれない。われわれ自身もその定義はなかなかできないのだが、私個人はこういう風に考えている。ポストモダンには新しい秩序が求められるのだが、その時の秩序がどんなものか考えるための、その下準備みたいなもの、と思っている。これは素人談義みたいになるかもしれないが、それをひとまずよしとして話を進めてみたい。このシンポジウムでの唯一のルールはわかる言葉を使おうということである。これを合言葉にして研究会を進めていきたいと思っている。まず3つの報告をいただき、それをもとにして総合討論を進めていきたい。

「地域間研究」合同研究会
世話人代表 高谷好一